

《日商簿記2級》 —工業簿記—

13. 個別原価計算

～仕損が発生した場合の処理まで確認しよう～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



個別原価計算

～個別原価計算とは～

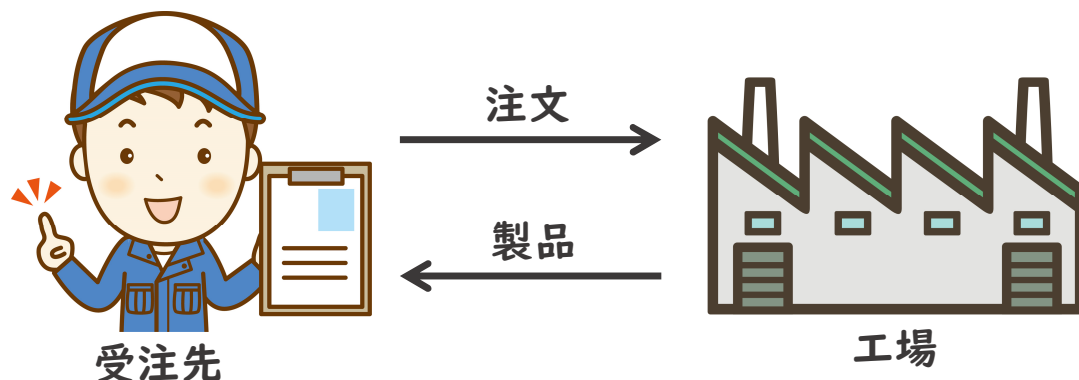
<個別原価計算の概要と種類について>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



個別原価計算

<個別原価計算の流れについて>



○用語○

製造指図書…注文内容や納期などが記載された書類

原価計算表…製造指図書をもとに原価を集計するための表

製造指図書				No.001	製造指図書				No.002
受注先	イロハ製作所				受注先	イロハ製作所			
受注日		納期			受注日		納期		
**年 **月 **日		**年 **月 **日			**年 **月 **日		**年 **月 **日		
品名	型番	数量	備考		品名	型番	数量	備考	
製品X	X-1	100個			製品Y	Y-1	30個		

原価計算表 (単位:円)

	製品X	製品Y	合計
直接材料費	1,000	500	1,500
直接労務費	800	400	1,200
直接経費	600	300	900
製造間接費	400	200	600
合計	2,800	1,400	4,200
備考	完成	未完成	

工業簿記の基礎

原価計算の手続き

<第3段階…製品原価の計算方法について>

- ・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、(**個別原価計算**)と(**総合原価計算**)の2つの方法がある。
- ・(**個別原価計算**)は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種(建設業・造船業など)で用いられる計算方法である。
- ・(**総合原価計算**)は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種(衣料品製造業など)で用いられる計算方法である。



個別原価計算

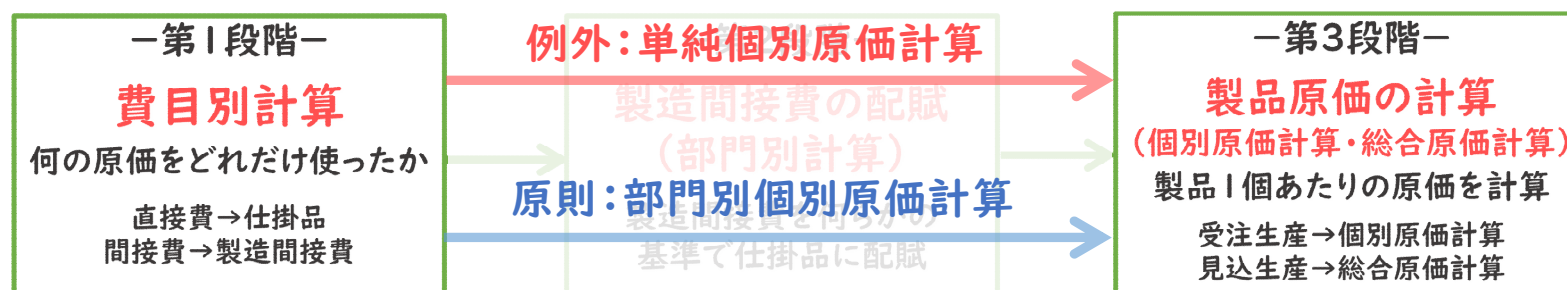
・個別原価計算は、部門別計算をするかしないかで2つの種類に分けられる。

【例外】

()… 原価計算の手続きを簡単に行うため、部門別計算の過程を省略し、1つの配賦基準で配賦(総括配賦)する方法である。生産工程が単純で、規模の小さな工場で採用される。

【原則】

()… 原価計算をより正確に行うため、部門別計算を行って、それぞれの部門に適した(複数の)配賦基準で配賦(部門別配賦)する方法である。生産工程が複雑で、規模の大きな工場で採用される。



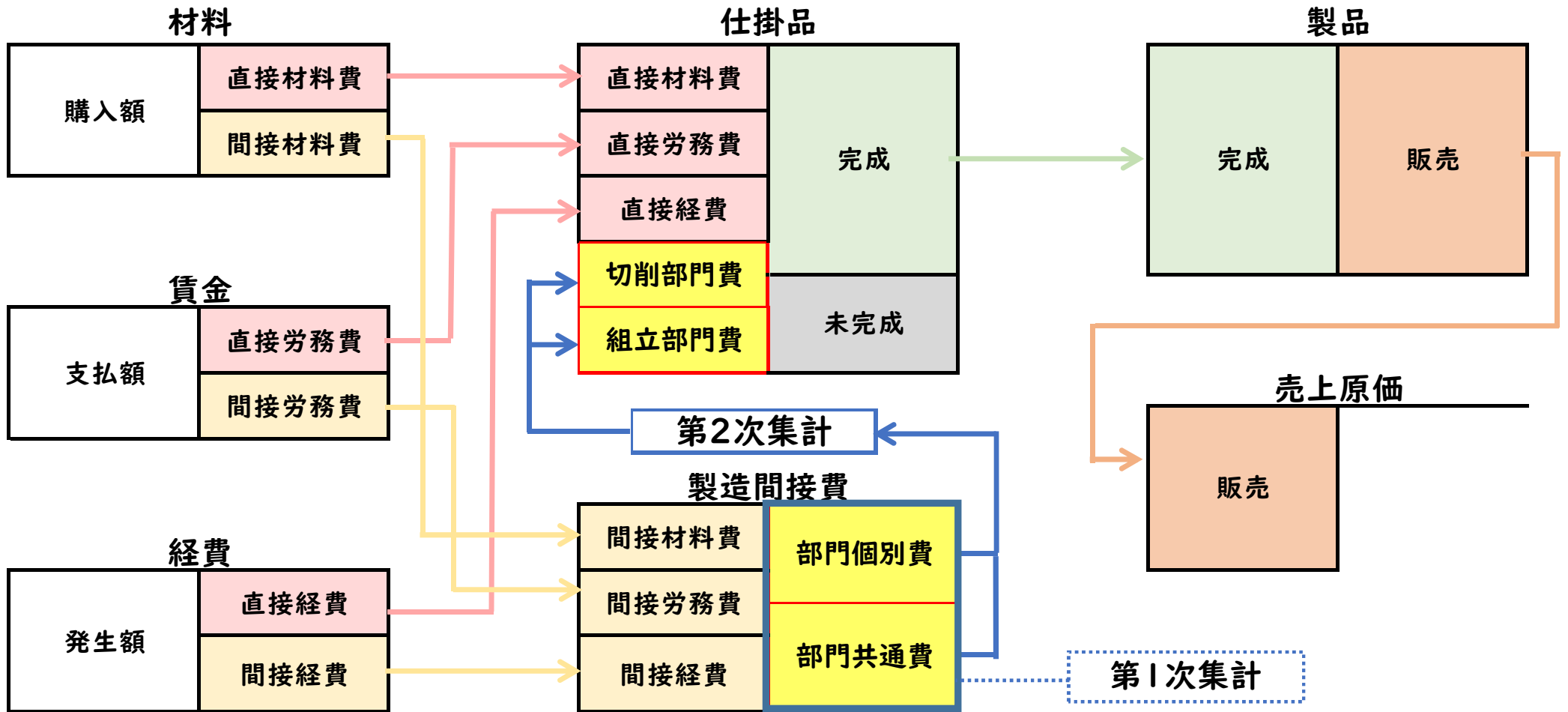
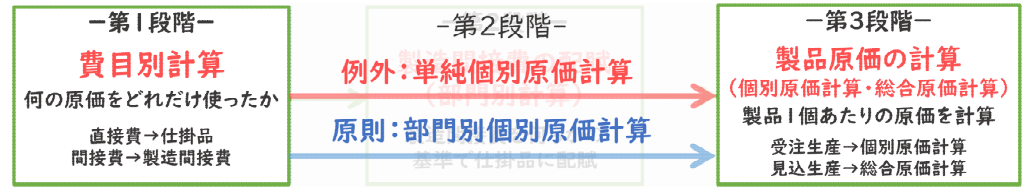
○用語○

(原価)部門…原価を分けて集計するための計算上の区分(製造部門、組立部門など)
部門別計算(部門別原価計算)…原価を部門ごとに分けて集計する計算手続き

個別原価計算

原価部門
 製造部門 (切削部門、組立部門など)
 補助部門 (動力部門、修繕部門、工場事務部門など)

<勘定連絡図 (部門別個別原価計算の場合)>



個別原価計算

～仕損（しそんじ）が発生した場合の処理方法～ <「仕損とは？」と仕訳について>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



個別原価計算

- ・個別原価計算における仕損(しそんじ)とは、製品の製造過程の中で加工に()し、不合格品が発生したことをいう。なお、この不合格品は()といい、これを補修もしくは代品を製造するために発生した費用を()という。
※1級の内容です!

<仕損費の処理について>

- ・仕損品を補修によって合格品にできる場合は、()を発行するが、ここに集計された製造原価(=補修費用)が仕損費となる。
- ・そして、この仕損費は仕損が発生した製造指図書へ賦課する。
()という

《例題》

製造指図書No.1において、仕損が発生したが、補修によって合格品にできるため補修指図書No.1-1を発行した。原価計算表を完成させなさい。

○用語○

賦課(直課)…直接、原価を割り当てること

原価計算表

(単位:円)

	No.1	No.1-1
直接材料費	1,000	250
直接労務費	600	150
製造間接費	400	100
小計	2,000	500
仕損費		
合計		
備考		

補修指図書によるもの

個別原価計算

<勘定記入のパターンと仕訳について>

仕損費を直接経費処理する際の勘定記入の方法には、「仕損費勘定」を設ける場合と設けない場合がある。

○仕損費勘定を設ける場合○

仕掛品 (No.1-1)		仕損費	
直接材料費	250	仕掛品	500
直接労務費	150	No.1-1	500
製造間接費	100	仕掛品	500
	500	No.1	500
	500		

仕掛品 (No.1)	
直接材料費	1,000
直接労務費	600
製造間接費	400
仕損費	500
	2,500

【仕訳】 ①No.1-1の補修費を仕損費へ振替える仕訳

②仕損費をNo.1の原価として賦課する仕訳

原価計算表

(単位:円)

	No.1	No.1-1
直接材料費	1,000	250
直接労務費	600	150
製造間接費	400	100
小計	2,000	仕損費 500
仕損費	500	△500
合計	2,500	0
備考	完成	No.1へ振替

補修指図書によるもの

◎仕損費勘定を設けない場合◎

仕掛品 (No.1-1)		仕掛品 (No.1)	
直接材料費	250	直接材料費	1,000
直接労務費	150	直接労務費	600
製造間接費	100	製造間接費	400
	500	仕掛品	500
	500		2,500

【仕訳】

<参考>

問題によっては、仕損費勘定を設ける場合の「仕損費勘定」および設けない場合の「仕掛品勘定」が借方と貸方で相殺できるため全体の仕掛品勘定には計上されない(しない)場合もある。この場合、「仕訳不要」として処理する。

個別原価計算

—問題解説—

<個別原価計算において仕損が発生した場合>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokihiroha.com>



個別原価計算

問題

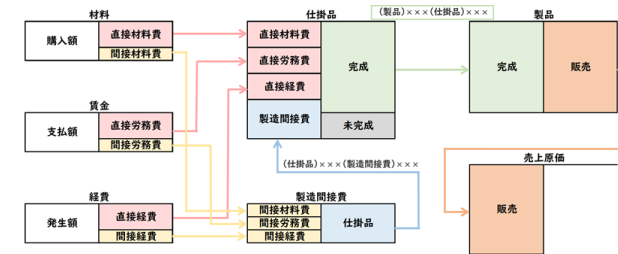
当社では、単純個別原価計算を採用している。
下記の資料より、原価計算表を完成させ、仕掛品勘定と製品勘定の記入を行いなさい。

[資料]

1. 当月の製造指図書内訳

製造指図書	直接材料費	直接作業時間	備考
No.101	2,000円	150h	6/25着手、7/5完成、7/10販売
No.102	5,000円	300h	7/2着手、7/15完成、7/25販売
No.103	3,500円	200h	7/8着手、7/16一部仕損、7/20完成、7/31在庫
No.103-1	500円	50h	7/17補修開始、7/18補修完了
No.104	1,500円	100h	7/25着手、7/31未完成

- ・月初仕掛品 (No.101) は3,500円であった。
- ・No.103-1は一部仕損が生じたNo.103を補修して合格品にするために発行した指図書であり、仕損は正常なものであった。
- なお、仕損費は直接経費として処理している。



2. 直接労務費の計算は、予定消費賃率を採用しており、1時間あたり10円である。
3. 製造間接費は、直接作業時間を配賦基準として各製造指図書に予定配賦しており、1時間あたり20円である。
4. 月初製品 (No.100) は10,000円であり、7/12に販売済みである。

原価計算表

(単位:円)

	No.101	No.102	No.103	No.103-1	No.104	合計
月初仕掛品						
直接材料費						
直接労務費						
製造間接費						
小計						
仕損費						
合計						
備考						



《重要》
定数計算機能「K」を使って計算すること!
@10円×150=,300=
@20円×150=,300=

個別原価計算

問題

当社では、単純個別原価計算を採用している。
下記の資料より、原価計算表を完成させ、仕掛品勘定と製品勘定の記入を行いなさい。

[資料]

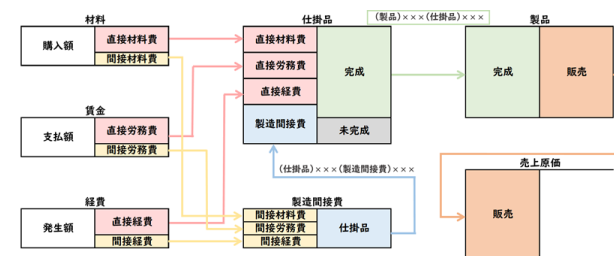
1~3.< 省略 >

4. 月初製品 (No.100) は10,000円であり、
7/12に販売済みである。

原価計算表

(単位:円)

	No.101	No.102	No.103	No.103-1	No.104	合計
月初仕掛品	3,500	-	-	-	-	3,500
直接材料費	2,000	5,000	3,500	500	1,500	12,500
直接労務費	1,500	3,000	2,000	500	1,000	8,000
製造間接費	3,000	6,000	4,000	1,000	2,000	16,000
小計	10,000	14,000	9,500	2,000	4,500	40,000
仕損費	-	-	2,000	△2,000	-	0
合計	10,000	14,000	11,500	0	4,500	40,000
備考	完成・販売	完成・販売	完成・在庫	No.103へ振替	仕掛中	



仕掛品

前月繰越
直接材料費
直接労務費
製造間接費

製品
次月繰越

製品

前月繰越
仕掛品

売上原価
次月繰越

個別原価計算

<参考>

仕損費勘定を設ける場合、設けない場合の仕掛品勘定の記入について

<参考>
問題によっては、仕損費勘定を設ける場合の「仕損費勘定」および設けない場合の「仕掛品勘定」が借方と貸方で相殺できるため全体の仕掛品勘定には計上されない(しない)場合もある。この場合、「仕訳不要」として処理する。

前月繰越	3,500	製 品	35,500
直接材料費	12,500	次月繰越	4,500
直接労務費	8,000		
製造間接費	16,000		
	<u>40,000</u>		<u>40,000</u>

原価計算表

(単位:円)

	No.101	No.102	No.103	No.103-1	No.104	合計
月初仕掛品	3,500	-	-	-	-	3,500
直接材料費	2,000	5,000	3,500	500	1,500	12,500
直接労務費	1,500	3,000	2,000	500	1,000	8,000
製造間接費	3,000	6,000	4,000	1,000	2,000	16,000
小計	10,000	14,000	9,500	2,000	4,500	40,000
仕損費	-	-	2,000	△2,000	-	0
合計	10,000	14,000	11,500	0	4,500	40,000
備考	完成・販売	完成・販売	完成・在庫	No.103へ振替	仕掛中	

●仕損費勘定を設ける場合●

直接材料費	500	仕 損 費	2,000
直接労務費	500		
製造間接費	1,000		
	<u>2,000</u>		<u>2,000</u>

仕 掛 品 No.103-1	2,000	仕 掛 品 No.103	2,000
	<u>2,000</u>		<u>2,000</u>

直接材料費	3,500	製 品	11,500
直接労務費	2,000		
製造間接費	4,000		
仕 損 費	2,000		
	<u>11,500</u>		<u>11,500</u>

仕掛品 (No.101/102/103/103-1/104)

前月繰越	3,500	製 品	35,500
直接材料費	12,500	次月繰越	4,500
直接労務費	8,000	仕 損 費	2,000
製造間接費	16,000		
仕 損 費	2,000		
	<u>42,000</u>		<u>42,000</u>

●仕損費勘定を設けない場合●

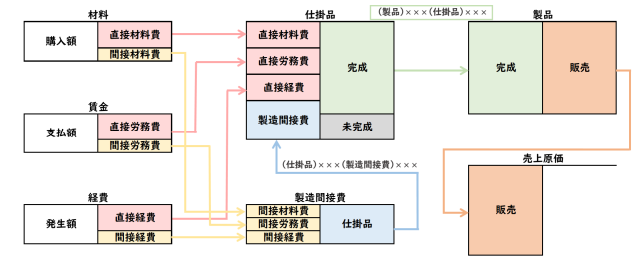
直接材料費	500	仕 掛 品	2,000
直接労務費	500		
製造間接費	1,000		
	<u>2,000</u>		<u>2,000</u>

直接材料費	3,500	製 品	11,500
直接労務費	2,000		
製造間接費	4,000		
仕 掛 品	2,000		
	<u>11,500</u>		<u>11,500</u>

仕掛品 (No.101/102/103/103-1/104)

前月繰越	3,500	製 品	35,500
直接材料費	12,500	次月繰越	4,500
直接労務費	8,000	仕 掛 品	2,000
製造間接費	16,000		
仕 掛 品	2,000		
	<u>42,000</u>		<u>42,000</u>

《まとめ》



- 個別原価計算には、原価計算の手続きを簡単に行う単純個別原価計算とより正確に行う()がある
- 個別原価計算において不合格品が発生したことは、()という
- 仕損費が発生した場合、仕損が発生した製造指図書へ賦課する
(2級では直接経費処理を学ぶ)



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします！

第13回の内容お疲れさまでした♪

